



らぶく La・BOOK

7月号

No.25

中央図書館の企画展示

「信州山の日」

今年は「信州の山 新世紀元年」と題して、長野県独自の「山の日」が制定されました。

- ・「信州 山の日」 7月第4日曜日
- ・「信州 山の月間」 7月15日から8月14日

そこで中央図書館では、あらためて山の魅力を紹介しようと図書やDVDを展示しています。



登山やトレッキングに出かけるもよし!

ご覧いただき、ぜひ活用してください。

連携企画 中央図書館映画上映会

日時：7月11日(金) 19:00～

「にっぽん百名山」

～鹿島槍ヶ岳・五竜岳・剣岳・立山～

(2013年作品 日本 上映時間約90分)

山を知り尽くした経験豊富なガイドに導かれ、まるで自分が登山道を歩いているような感覚になりながら、今の“ヤマタビ”の魅力を伝えます。



中央図書館

奮闘! 調べもの日記(シファレンス)

天蚕について

天蚕とは、山繭・山蚕とも呼ばれ、家蚕(白い絹の蚕)に対し、山野に自生する緑色鮮やかな野蚕を言います。



天蚕の幼虫

安曇野市穂高有明地区は、江戸時代の天明年間(1781年～1788年)から天蚕の飼育が始まり、明治30年頃には一年間に800万粒の繭を生産し、日本の天蚕の本場として名を馳せました。

天蚕糸で織られた有明紬は、信州紬の中に含まれ、伝統的工芸品に指定されています。



天蚕の繭

<関係資料>

- 『探訪・安曇野』 中島博昭/著 郷土出版社 1988
- 『山繭養法秘傳注解 増補』 中嶋福雄/編著 1984
- 『安曇野史への招待』 高原正文/著 信毎書籍出版センター 2011
- 『工芸の博物誌』 日本工芸会近畿支部/編 淡交社 2009
- 『天蚕』 中嶋福雄/著 農山漁村文化協会 1987
- 『長野県野蚕糸学会誌』 小島賢夫/編著 1999
- 『みどり色のまゆ』 穂高北小郷土研究会/編著 1986

私と図書館

甥のために通っていた図書館も、次第に自分自身の一冊を探すために行くようになり、時代小説やヤングアダルトの本、そして料理本等々、幅広いジャンルの本にも目を向けて選ぶようになりました。

スローペースながらも、これからの可愛い甥の成長を楽しみに図書館へ通い、たくさんの本を読んできてほしいと思います。



(30代 女性)

私は小さい頃から本を読むことが好きでしたが、ここ数年、仕事の多忙さを理由に読書から離れていました。

そんな私が、六歳の甥っ子的のために本を買うようになり、更に読んであげるようになりました。慣れない読み聞かせですが、甥が一生懸命に聞いてくれるので、こちらもたくさん本を読んであげたい気持ちになつてきました。

また、成長とともに昆虫や恐竜の図鑑に興味を示し、今では図書館で図鑑を借りて、見て、覚えて、家族にも名前や他の種類との違いを教えてくださいようになりました。

6月貸出ランキング

一般書

- 1 神様のカルテ 3/夏川草介
- 2 日本橋本石町やさぐれ長屋/宇江佐真理
- 〃 ペテロの葬列/宮部みゆき
- 4 祈りの証明/森村誠一
- 〃 太陽の棘/原田マハ
- 〃 祈りの幕が下りる時/東野圭吾
- 〃 虚ろな十字架/東野圭吾
- 〃 憂いなき街/佐々木譲
- 〃 ケモノの城/誉田哲也
- 〃 白ゆき姫殺人事件/湊かなえ
- 〃 龍の行方/遠藤武文
- 〃 村上海賊の娘 上/和田 竜
- 〃 はるか遠く、彼方の君へ/安澄加奈

児童書

- 1 バムとケロのシリーズ/島田ゆか
- 2 くっついた/三浦太郎
- 3 しろくまちゃんのほっとけーき/わかやまけん
- 4 かいけつゾロリシリーズ/原ゆたか
- 5 ミルクこぼしちゃだめよ!/スティーヴン・テイヴィース

AV資料

- 1 ショパン:ピアノ・ソナタ第3番|幻想曲 op.49|ワルツ 他/ショパン
- 2 Wish You The Best/倉木麻衣
- 〃 おじゃる丸/大地丙太郎製作
- 〃 崖の上のポニョ/宮崎 駿監督
- 〃 トムとジェリー 2/小坂知裕
- 〃 のぼうの城/犬童一心 他監督
- 〃 ハリー・ポッターと炎のゴブレット/マイク・ニューウェル監督
- 〃 横道世之介/沖田修一監督

堀金図書館から

本のソムリエ(職員) おすすめ本

一般書 『サラメシ』

学研パブリッシング編/Gakken

表紙

“ランチをのぞけば、人生が見えてくる”で始まるこの本。他人のランチって、ちょっと気になりますよね?自分と違うお仕事をしている人のランチなんて、今まで考えたこともなかったけれど、知るとなかなか面白い。

ここに登場する人達の仕事に対する思いが、ランチと一緒に詰まった一冊です。

児童書

『オバケの長七郎』

ななもりさちこ作・きむらなおよ絵/福音館書店

表紙

5歳のオバケの長七郎は、商店街にある古道具屋「へなもんや」の源ジイと暮らし始めます。長七郎はオバケなのに、人々を怖がらせたり、驚かしたりすることもできません。早く一人前になりたくて練習するたびに巻

き起こす愉快なできごと。

夏にむけて、ひやっとしない、楽しくて、こんなオバケならいてもいいかなあ～なんて思うお話です。

大募集 図書館川柳

- ・図書館に関わる川柳を募集します。
- ・受賞者には、図書カードをプレゼント!
- ・募集期間 7月25日(金)必着。
- ・お申し込みは、各図書館へ。
- ・詳しくは市ホームページ、広報6月号、各図書館にあるチラシをご覧ください。



中央図書館の

「夜のおはなし会」

日時 7月27日(日) 18:00～
場所 中央図書館ブラウジングコーナー
語り手 穂高絵本とお話の会
対象 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)



編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-5796
明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※

今、若者が「日本語の使い方を知らないこと」が問題になっている。この問題について、川北義則は、著書『父親の品格』の中で「子どもたちの国語力の低下は、一家団欒が少なくなったことと読書をしなくなったことが大きいのではないか」「子どもたちの会話の絶対量を増やせ」と述べている。心に留めたい一言だ。